

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）

計画段階環境配慮書

令和元年 5 月



独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 令元情復、第 123 号）

目 次

第1章 第一種鉄道建設等事業を実施しようとする者の氏名及び住所	1-1
第2章 第一種鉄道建設等事業の目的及び内容	2-1
2-1 北陸新幹線の事業経緯	2-1
2-2 第一種鉄道建設等事業の目的	2-2
2-3 第一種鉄道建設等事業の内容	2-2
2-3-1 第一種鉄道建設等事業の名称及び種類	2-2
2-3-2 第一種鉄道建設等事業実施想定区域の位置	2-2
2-3-3 第一種鉄道建設等事業の規模	2-2
2-3-4 第一種鉄道建設等事業に係る単線・複線等の別及び動力	2-2
2-3-5 その他の第一種鉄道建設等事業に関する事項	2-2
2-4 事業実施想定区域を設定する際の考え方	2-4
第3章 事業実施想定区域及びその周囲の概況	3-1
3-1 自然的状況	3-1
3-1-1 大気環境の状況	3-1
3-1-2 水環境の状況	3-10
3-1-3 土壌及び地盤の状況	3-14
3-1-4 地形及び地質の状況	3-16
3-1-5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3-19
3-1-6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況	3-29
3-2 社会的状況	3-33
3-2-1 人口及び産業の状況	3-33
3-2-2 土地利用の状況	3-36
3-2-3 地下水の利用の状況	3-38
3-2-4 交通の状況	3-42
3-2-5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の 配置の状況及び住宅の配置の概況	3-45
3-2-6 環境の保全を目的として法令等により指定された地域その他の対象 及び当該対象に係る規制の内容その他の状況	3-49

第4章	計画段階配慮事項ごとに調査、予測及び評価の結果をとりまとめたもの	4-1
4-1	計画段階配慮事項の選定	4-1
4-1-1	計画段階配慮事項の選定	4-1
4-1-2	選定の理由	4-3
4-2	計画段階配慮事項の検討に係る調査、予測及び評価の手法	4-4
4-2-1	調査、予測及び評価の手法の選定	4-4
4-2-2	選定の理由	4-5
4-3	計画段階配慮事項の検討に係る調査、予測及び評価の結果	4-6
4-3-1	騒音	4-6
4-3-2	低周波音	4-10
4-3-3	振動	4-12
4-3-4	水質	4-15
4-3-5	地下水	4-18
4-3-6	水資源	4-21
4-3-7	地形及び地質	4-23
4-3-8	文化財	4-25
4-3-9	動物	4-28
4-3-10	植物	4-33
4-3-11	生態系	4-36
4-3-12	景観	4-39
4-3-13	人と自然との触れ合いの活動の場	4-42
4-4	総合評価	4-44
第5章	本配慮書に対する意見書の提出	5-1

資料編

第1章 第一種鉄道建設等事業を実施しようとする者の氏名及び住所

事業者の名称	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
代表者の氏名	理事長 北村 隆志
主たる事務所の所在地	神奈川県横浜市中区本町六丁目50番地1